

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 旭川 NPO サポートセンター</p>	<p>所在地</p>	<p>旭川市</p>
<p>団体概要</p>	<p>2000年、市民に密着したサービスを提供するNPO法人の設立等を支援するためのNPOとして法人化した。地域のNPOのサポート業務を行うほか、市民活動やまちづくりに関する活動の支援、ファミリーサポートセンターやこども緊急さぼねっと、ひとり親支援といった子育て支援など、様々な活動を実施している。スタッフは11人。</p> <p>2010年より市内の旧国鉄の工場施設を活用した「旭川市市民活動交流センター-CoCoDe」の管理・運営も担っている。</p>		

空家整理の担い手に！ 生活困窮者の自立支援事業

<p>背景</p>	<p>旭川市内に空家は約21,000戸ある。空家問題は全道的に深刻化していて、放置すると家屋の劣化が進み、犯罪の温床になったり、環境や景観の悪化を招くことが懸念される。「空家 de 北海道」という事業があり、全道7カ所のNPOがネットワークを結び、空家の片付けや管理、空家を求めている人へのマッチングを行っている。旭川地区は当法人が担当している。</p> <p>また、旭川市には約1.2万人の生活保護受給者がおり、生活困窮の相談窓口にも多くの人を訪れている。中には対人関係の構築が苦手な社会との接点が失われている人もいと想定される。少しずつコミュニケーションを取りながら段階的に就労の経験を積む機会があれば、彼らに居場所と役割を見いだせるのではないかと考えた。</p>
<p>活動内容</p>	<p>生活協同組合北海道高齢協が、生活保護受給者と生活困窮者の相談窓口である自立サポートセンターに相談に来た人のうち就労準備支援事業の利用者のなかで、空家整理などに適性があり希望する人を空家整理の人員として登録している。当法人では空家整理、草刈り、庭木の伐採、除雪などの仕事の依頼に応じて、同組合に登録者をマッチングしてもらっている。空家整理で出てきたリサイクル可能な木製家具などは、連携する就労継続支援B型事業所に引き取ってもらい、有効活用している。</p> <p>登録者のなかには、職人歴数十年の実績があっても持病があるためフルタイムでの勤務が難しかったり、体力や能力があっても、長年引きこもっていたり、コミュニケーションが苦手だったりなど、さまざまな理由でなかなか就職活動にたどり着けない人も多い。本事業は市の「生活困窮者就労訓練事業認定」を受けていて、就労訓練の一環として位置付けている。この活動に参加することで働く経験を積み、収入を得る喜びと自信をつけ、本格的な求職活動に臨んでもらい、一般就労に結びつけることを目指している。</p> <p>なお、仕事を行った人には最低賃金を支払っている。仕事の確保においては、一般市民向けにチラシやフリーペーパーで周知している他、行政や関係機関と連携し、依頼を受けることもある。</p>

活動を実施する中での気づき・発見（成果・効果）

仕事に参加した困窮者から、「やりがいがある」との声を聞く。空家整理は作業前後の違いが明確で成果を実感しやすく、またでかける先ごとに状況が異なるのでマンネリ感がない部分が、就労訓練の場に向いていることがわかった。「自分のできる範囲で働けるのがいい」という声もある。

また、少人数のチームでの作業、家主さんの感謝など、小さなコミュニケーションに喜びを感じ自信を取り戻す人も多い。回を重ねるごとに、自ら進んで動くなどの変化・意欲が見られるようになった。

これまでに 8 人（一般就労 6 人・福祉的就労 2 人）が就職に結びついている。能力があるが仕事に就けていない人がたくさんいることもわかった。

なお、依頼者からは、「信頼がおける」、「家財を丁寧にあつかってくれる」など評判もいい。

課題、今後取り組もうとしていること（展望）

仕事に参加した困窮者の中には、チームでの作業はできるが、一人で就職活動をするのは不安だとの声もある。マイペースに働けることに心地よさを覚え、一般就労への意欲がわからない人もいる。そういった人への声掛け、サポートが必要である。

また、仕事の安定確保も課題となっている。依頼者のなかには、NPO が実施しているので無料あるいは安く行ってくれると勘違いする人もいる。趣旨を理解して依頼してもらえよう、情報発信に努めていきたい。

いずれこの事業の趣旨に賛同し、協力してくれる企業が現れるとありがたい。例えば不動産・引っ越し業者から引っ越し後の掃除を任せてもらうなど。継続して安定的に仕事が入る状態を目指し、実績づくりと連携先の掘り起こし等を行っていく。



旧国鉄の工場を利用した
市民活動交流センター-CoCoDe



引っ越し前の家財整理作業。
慣れると自主的に作業を進めることができる

活動内容に関する問い合わせ先

特定非営利活動法人 旭川 NPO サポートセンター 理事 森田裕子
電話：0166-74-4151 メール：asahinpo@potato.ne.jp